

[施策名 ⑤積算の合理化]

官庁営繕部営繕計画課

営繕積算基準の統一、公開
[建設省等9省庁]

○ 施策の概要、進捗状況、継続性
(概要)

営繕工事積算について、従来から公共建築工事積算研究会の場で工事積算の合理化に向け、工事歩掛りや共通費等についての調査検討を行い、工事標準歩掛り等の成果物をまとめてきたが、さらに他の積算基準の統一・整合、公開に向けた検討を進めることとした。まず、従来から発注機関ごとに算定手法の差が大きい共通費の算定について検討を行い、公共建築工事積算研究会の場で協議・調整の上、整合を図って公開し、また、建築工事の数量積算基準を統一公開した。

(進捗状況、継続性)

共通費について、平成9年10月には一般管理費等について統一公表し、さらに平成10年度には共通仮設費及び現場管理費と共通費全体の算定手法について整合を図って平成11年度より公表した。また、建築工事の数量積算基準については、平成11年度末に統一し公表した。さらに、平成11年度から新たに改修工事に関する積算基準策定に向けて取り組んでいる。

○ 施策の効果

発注者としては、基準の整合を図って統一することで、積算基準の整備や見直しに要していた多大の労力と時間が発注者全体として大幅に縮減される。一方受注者としても、統一的な積算基準が公表されることで、発注者ごとの積算手法に対応する必要はなくなり、また発注者の積算に対する理解が進んで、入札価格や設計変更金額の検討作業の効率化が図られる。

○イメージ図

